

平成 30 年 1 月 12 日

各大学長  
各大学農学部長 殿  
各関係機関長

弘前大学教育研究院自然科学系長  
加藤 博雄  
(公印省略)

## 昆虫生理学分野助教の公募について (依頼)

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学系農学・生命科学領域では、下記要領により昆虫生理学分野の助教を公募することになりました。つきましては、関係各位に周知下さいますようお願い申し上げます。

なお、本件は、農学生命科学部ホームページの教員公募情報(<http://nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/stafflist/koubo/>)にも掲載しております。

### 記

1. 募集人員 助教 1 名 (任期なし)
2. 所 属 自然科学系 農学・生命科学領域
3. 専任担当 農学生命科学部食料資源学科
4. 専門分野 昆虫生理学
5. 担当科目  
学部：〔専任担当科目〕昆虫生理学、専門英語、卒業研究、食料資源学演習Ⅰ・Ⅱ、〔分担科目〕生物の基礎、食料資源学概論、食料資源学専門実験、海外研修入門、生産環境学実験など (他学部開講の分担科目も含む)  
大学院：〔専任担当科目〕専攻分野の担当科目、特別研究Ⅰ・Ⅱ、特別演習Ⅰ・Ⅱ、〔分担科目〕研究方法論など  
教養教育科目：スタディスキル導入科目、自然・科学科目群など
6. 応募資格 次の要件をすべて満たす者  
博士の学位 (外国において授与されたこれに相当する学位を含む) を有し、研究および教育上の優れた能力を有すること。または、赴任時まで博士の学位を取得出来る見込みがあること。
7. 着任時期 平成 30 年 8 月 1 日以降のできるだけ早い時期
8. 選考方法
  - (1) 書類選考
  - (2) 候補者による研究発表 (これまでの研究と今後の教育研究・社会貢献について)
  - (3) 候補者に対する面接
9. 提出書類
  - (1) 履歴書 (高等学校卒業以後の履歴を記載したもの)
  - (2) 研究業績目録 (業績の区分、記載方法については、ホームページを参照してください)
  - (3) 研究業績目録に記載された著書、原著論文、総説のうち主要なもの 10 編以内の別刷又はコピー
  - (4) (3) のうちの 5 編以内について、各編の学術的意義に関する簡潔な説明書
  - (5) 教育業績書
  - (6) 地域連携・社会貢献に係わる業績説明書
  - (7) 学会・社会における活動状況の説明書  
(所属学会における活動及び公的機関の委員会専門委員などの社会における活動について)

記載してください)

- (8) 従前の研究活動の特徴と今後の教育及び研究に対する抱負を述べたもの(それぞれ2,000字以内)

※必要書類中(1)、(2)、(5)、(6)は所定の様式に記載して下さい。

様式は、農学生命科学部のホームページからダウンロードして下さい。

書類に不備がある場合でもそれに基づいて審査が行われます。不備が多いのは研究業績目録です。記載の仕方に十分にご注意ください。

10. 応募期限 平成30年3月16日(金)(書類必着)期限を過ぎた応募は受けません。

#### 11. 書類の提出先

〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地

弘前大学農学生命科学部 総務グループ(総務担当)宛

※封筒に「教員応募書類(昆虫生理学分野助教)在中」と朱書きし、簡易書留、レターパック、EMS、その他法令で認められる送付方法により、送付記録の残る方法で送付して下さい。

#### 12. 問合せ先

〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地

弘前大学農学生命科学部 総務グループ(総務担当)

電話:(0172)39-3748、FAX:(0172)39-3750、E-mail:jm2745@hirosaki-u.ac.jp

#### 備考

- (1) 食料資源学科には、教育コースとして食料バイオテクノロジー、食品科学、および食料生産環境の3コースがあります。今回の公募は、食料生産環境コースの教員補充に伴うものです。
- (2) 食料資源学科は、バイオテクノロジーを用いた新世代作物などの開発、保健機能を持つ食品素材の食品への安全な応用、および安定的・持続的な食料生産に役立つ技術の開発などの研究に取り組んでいます。
- (3) 今回公募する教員には、昆虫生理の分子基盤に関する研究経験を有し、特に変態などの昆虫特有な成育過程に基づく環境調和型害虫防除技術の開発などの応用研究に意欲のある方、また、着任後は積極的に地域の産学官との交流を図り、地域に貢献する教育研究を推進する意欲がある方を望みます。
- (4) 本学は、岩手大学、山形大学及び帯広畜産大学とともに博士課程大学院(岩手大学大学院連合農学研究科)を構成しており、採用者は連合農学研究科教員となる資格審査を経て博士課程の学生を指導することになります。
- (5) 選考の過程で面接や研究・教育・社会貢献に関する発表をお願いすることがあります。その場合、旅費は応募者の負担となります。
- (6) 採用後の給与については、弘前大学で規定する年俸制が適用されます(ただし、任期付きではありません)。
- (7) 弘前大学は男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等と認められる場合には女性を優先的に採用します。面接時の交通費支援を含む支援策については、男女共同参画推進室ホームページ(<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>)をご覧ください。
- (8) 弘前大学では、外国人の方の積極的な応募をお待ちしております。
- (9) 弘前大学では、担当の授業科目が教職課程認定科目に相当する場合、所属が「自然科学系農学・生命科学領域」の他に、「教員養成部門」にも所属することになります。

以上